

Q：警報発令時の子ども達の安全について。どう対応していますか？

A：警報が発令しそうな時は、情報を集め、今の状況をよく見てどうするか考えます。通常時でも対応にはとても気を使いますが、今年は新型コロナの為「密を避ける」ことにも考慮しないといけないので、例年に増して対応がとても難しくなっています。

・給食はなるべく食べさせてから帰してあげたいので、給食室には出来る限り急いで作ってくれるようお願いしています。

・密を避けるため、訓練通りに児童を集めるのが難しくなっていますが、なるべく基本（訓練）に忠実にしていきたいと思っています。

・各地区へ引率する先生には万が一の時に備え、最後の生徒を見送った後、その場で最低10分は待機してもらうようにしています。生徒には何かあったら戻るよう声掛けをしています。

Q：挨拶を全くしない子が多いことについてどのように考えていますか？

A：挨拶はとても大事なことなので、子ども達には折に触れそのことを伝えています。登校時班長さんで大きな声で挨拶してくれる子がいますが、そうすると下の子も挨拶してくれます。

・もちろん無理強いしませんが、挨拶する子が増えれば空気も良い方に流れると思うので、これからも「挨拶はしようね」と伝えていきます。

・それと、朝よりも帰りの方が元気に挨拶してくれる子が多いです。やはり朝は「まだ眠い。これから勉強か…」とテンションが低いせいもあるのかもしれませんが。

Q：PTAの活動とは？

A：学校に対して意見がくることがありますが、保護者（＝個人）の意見よりも、PTA（＝複数の保護者）の意見のほうが重くなります。PTAという団体は、例年決められたことをするのはなく、本来はこの座談会のような、保護者と学校との繋がりを作っていくというのが本質だと思います。保護者は子どもと一番距離が近い人。保護者と繋がることで、学校も子どものことをさらに知ることが出来るのだと思います。

Q：入学説明会も、登校班の上級生とのあいさつもなく、黙々と学校に通っているので、説明会や交流会のようなものを開催してほしい。

A：コロナの影響でなかなか機会を作るのが難しいですが、可能であれば交流の場を設けていきたいと思っています。

Q：教育委員会からの通達で、対応に困ることはありますか？教委と保護者にはさまれて困ることは？

A：国で決められている指導要領が行えていない場合など、よほどまずい状況ならば指導が入りますが、基本的にその学校でどういう教育をするかは校長に任されています。日常的な教育活動（運動会や修学旅行など大きな行事）など、学校単体で決めるのが難しいことは、校長会などで、他の学校長や教育委員会と話し合い決定します。なので、板挟みで困る！という事はなく、『教育委員会は守ってくれている』という感じです。

Q：今と昔、保護者の変ったな一と思うところ、良いところ悪いところは？

A：昔は「学校でのことは学校に任せるわー」という感じてましたが、最近は学校教育にすごく関心を持ってくれている。ただその反面「子どものことは学校や塾に任せたらよい」という方もおり、その差がとても激しいです。もちろん『学校教育』はしっかり行っていますが、全部任せきりは違うかもしれません。「靴を脱いだら揃えようね。」「使っていない部屋の電気は消した？」「会った人には挨拶しようね」などの『家庭教育』や『地域教育』のほう人が人を作っていくうえで大事だと思っています。

最近は、失敗がゆるされない社会になっている気がします。成功体験は自信にもつながる大事なことでと思いますが、失敗体験もすごく大事です。小さな失敗をすることでリカバリー力を付けていく。そうすると、いざ大きな問題にぶつかった時もしっかり対応していけるようになります。子ども達が安心して失敗できる環境になればと思います。

Q：校長先生のブログ楽しみです！どういう順番で学年を回っていますか？

A：順番などは決めていませんが、毎日カメラを提げて学校内をウロチョロし、「あ！おもしろい！」と思ったらパシャっとします。私は、「出来事」だけでなく「自分の思い・感想」も必ず載せるようにしています。自分の思いを発信することで、何かが返ってくると信じてこれからも情報発信をしていきます。

Q：納豆が給食に出ることはないのですか？

A：リクエストがあったことは栄養教諭に伝えておきます。

小学校に着任して約5年。小学校の給食を食べてそのおいしさに感動しました。各学校で作っている学校給食は、川西のウリになるのでは？と思います。

Q：コロナ対応で増えた負担はありますか？保護者でできることはないですか？

A：何が正解かわからず、先が見えないので対策を立てていくのが難しい状況です。現場ではちょっとした行事でも「本当に出来るのか？」という不安を抱えながら計画を立てています。

学校は勉強だけではなく、ふれあいの場だと思っています。本来子どもはワチャワチャしているもの。人との距離を取らないといけないこの状況はとても心苦しく、コロナが収まった時に上手く付き合い方を取り戻していけるかとても心配です。そういった面で、子ども達のストレスも増えていると思います。

保護者のみなさまにお願いしたいのは、「ご家庭で子ども達のフォローをしてあげてください」ということです。

Q：次年度に担当したい学年など、先生の希望が通ることはありますか？

A：学校内の人事は校長にまかされており、個々の先生から希望は訊いています。クラスはその時の学年の先生たちで次年度のクラス振り分けを行い、ほか学校への異動に関しては教育委員会が決定してします。

座談会中にこんなお話もありました。

- ・ 今年イベントも少なく、今のクラスで新しい友達がなかなかできない様子。去年仲が良かった違うクラスの事ばかり遊んでいるようで不安。
- ・ 保険室は体調不良だけでなく、「今は教室にいられない」という子の居場所にもなっていたと思いますが、今年は去年のように使用できなくなっています。「家に帰るほどではないけれど、少し休憩したい」という子の居場所は作れないのですか？→今年はコロナという状況で、保健室も2部屋に分けて対応していますが、体調不良の子に対応するのはいっぱいになっています。ほかの居場所を作ったとしても、一緒に居てあげる教員がいらないため、なかなか難しい状況です。